



平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月23日

上場会社名 キヤノン電子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7739 URL <http://www.canon-elec.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒巻 久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 黒沢 明 (TEL) (03)6910-4111
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	80,230	△2.0	7,693	△10.7	8,020	△8.1	4,626	△11.1
23年12月期第3四半期	81,832	△9.3	8,616	△22.1	8,728	△17.6	5,205	△14.1

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 4,630百万円(△4.3%) 23年12月期第3四半期 4,840百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
24年12月期第3四半期	円 銭 109 70	円 銭 —
23年12月期第3四半期	円 銭 123 42	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
24年12月期第3四半期	百万円 90,641	百万円 66,977	% 73.6
23年12月期	百万円 90,585	百万円 64,884	% 71.3

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 66,700百万円 23年12月期 64,601百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年12月期	円 銭 —	円 銭 30 00	円 銭 —	円 銭 30 00	円 銭 60 00
24年12月期	円 銭 —	円 銭 30 00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
24年12月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 なお、平成24年12月期の1株当たり配当金については未定です。

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	2.0	12,000	4.5	12,000	2.6	7,200	8.5	170 72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期3Q	42,206,540株	23年12月期	42,206,540株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	33,004株	23年12月期	33,378株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期3Q	42,173,273株	23年12月期3Q	42,173,107株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来の見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

平成24年12月期の1株あたり配当金につきましては、当社グループを取り巻く事業環境は引き続き不透明であり、今後の市場動向を見据えた上で公表する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年1月1日～平成24年9月30日）の世界情勢は、米国では緩やかな景気回復が続きましたが、欧州経済は財政不安の高まりにより低調に推移しました。中国では景気拡大のテンポが鈍化しました。国内経済は、世界経済の減速の動きが広がる中で、景気は足踏み状態となりました。

当社グループ関連市場では、デジタル一眼レフカメラの需要は拡大が続いており、また、ドキュメントスキャナーは北米およびアジア市場において需要が堅調に推移しました。一方、情報関連事業は、情報システム投資が伸び悩む中で厳しい状況が続きました。

このような中で当社グループは、世界トップレベルの高収益企業を目指し、全社を挙げた生産性向上活動、3R（リデュース・リユース・リサイクル）環境活動を積極的に推し進めてまいりました。また、経営全般にわたりムダ排除に徹底的に取り組み、利益体質の維持向上に注力してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は802億30百万円（前年同期比2.0%減）、連結営業利益は76億93百万円（前年同期比10.7%減）、連結四半期純利益は46億26百万円（前年同期比11.1%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①コンポーネント

当セグメントにおきましては、デジタル一眼レフカメラの需要拡大に伴い、シャッターユニットの売上が伸びました。また、交換レンズ用絞りユニット・防振ユニットも堅調に推移しました。一方、コンパクトデジタルカメラ用シャッターユニットやムービー用絞りユニットは、市場の停滞、価格下落の影響を受け売上が減少しました。また、レーザースキャナーユニットについても売上が減少しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は443億97百万円（前年同期比2.5%減）営業利益は52億51百万円（前年同期比16.1%減）となりました。

②電子情報機器

当セグメントにおきましては、ドキュメントスキャナーは、高速機を中心に販売を拡大し、また、米国市場ではチェックスキャナー（小切手読取用スキャナー）の販売が好調に推移しました。ハンディターミナルは、軽量・コンパクトタイプの「プレアAT-100」や新製品の画面端末「プレアDX-360」を投入し、金融・飲料業界以外の新規市場へも拡販に努めました。レーザープリンターは販売数量が減少しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は280億14百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益は32億82百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

③その他

当セグメントにおきましては、情報システム投資が停滞している中、厳しい状況が続きました。

これらの結果、当セグメントの売上高は78億18百万円（前年同期比6.4%減）、営業損失は3億38百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は906億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ55百万円増加しました。流動資産は524億53百万円となり、2億87百万円減少しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少によるものです。固定資産は381億87百万円となり、3億43百万円増加しました。うち有形固定資産は335億29百万円となり、11億44百万円増加しました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債は236億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億37百万円減少しました。流動負債は208億36百万円となり、19億5百万円減少しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少、未払法人税等の減少によるものです。固定負債は28億26百万円となり、1億32百万円減少しました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産は669億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億93百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益計上と剰余金の配当によるものです。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の71.3%から73.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績見通しにつきましては、平成24年1月25日に公表いたしました連結業績予想に変更ありませんが、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

(連結売上高1,110億円、連結営業利益120億円、連結経常利益120億円、連結当期純利益72億円)

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,411	27,650
受取手形及び売掛金	17,712	16,554
リース投資資産	236	184
商品及び製品	1,662	1,792
仕掛品	4,234	3,901
原材料及び貯蔵品	128	130
繰延税金資産	531	745
その他	1,833	1,501
貸倒引当金	△10	△6
流動資産合計	52,740	52,453
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,108	14,139
機械装置及び運搬具（純額）	2,124	1,827
工具、器具及び備品（純額）	2,647	2,841
土地	13,056	13,250
建設仮勘定	448	1,470
有形固定資産合計	32,384	33,529
無形固定資産		
のれん	370	231
その他	970	816
無形固定資産合計	1,340	1,047
投資その他の資産		
投資有価証券	1,460	987
繰延税金資産	1,694	1,726
その他	981	898
貸倒引当金	△17	△2
投資その他の資産合計	4,118	3,610
固定資産合計	37,844	38,187
資産合計	90,585	90,641

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,882	16,087
リース債務	68	68
未払費用	1,209	1,037
未払法人税等	2,444	975
設備関係支払手形	28	20
賞与引当金	339	1,400
役員賞与引当金	47	30
受注損失引当金	149	146
その他	1,572	1,069
流動負債合計	22,742	20,836
固定負債		
リース債務	163	112
退職給付引当金	2,341	2,270
役員退職慰労引当金	370	359
永年勤続慰労引当金	41	40
繰延税金負債	41	43
その他	0	0
固定負債合計	2,958	2,826
負債合計	25,700	23,663
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,969	4,969
資本剰余金	9,595	9,595
利益剰余金	51,125	53,221
自己株式	△71	△70
株主資本合計	65,618	67,715
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△96	△109
為替換算調整勘定	△919	△904
その他の包括利益累計額合計	△1,016	△1,014
新株予約権	244	237
少数株主持分	37	39
純資産合計	64,884	66,977
負債純資産合計	90,585	90,641

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	81,832	80,230
売上原価	65,273	64,772
売上総利益	16,558	15,458
販売費及び一般管理費	7,942	7,764
営業利益	8,616	7,693
営業外収益		
為替差益	—	193
その他	138	138
営業外収益合計	138	332
営業外費用		
支払利息	2	2
為替差損	18	—
その他	6	3
営業外費用合計	26	5
経常利益	8,728	8,020
特別利益		
投資有価証券売却益	59	33
その他	56	9
特別利益合計	116	43
特別損失		
投資有価証券評価損	294	584
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	16	—
その他	18	54
特別損失合計	329	639
税金等調整前四半期純利益	8,515	7,423
法人税、住民税及び事業税	3,656	3,048
法人税等調整額	△346	△253
法人税等合計	3,309	2,795
少数株主損益調整前四半期純利益	5,205	4,628
少数株主利益	0	1
四半期純利益	5,205	4,626

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,205	4,628
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△156	△13
為替換算調整勘定	△208	15
その他の包括利益合計	△365	2
四半期包括利益	4,840	4,630
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,840	4,628
少数株主に係る四半期包括利益	0	1

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	コンポーネント	電子情報機器	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	45,520	27,961	73,482	8,350	81,832	—	81,832
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	63	713	776	101	878	△878	—
計	45,583	28,675	74,258	8,452	82,711	△878	81,832
セグメント利益	6,259	2,960	9,220	27	9,248	△631	8,616

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にソフトウェアの開発・販売
ITソリューション等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	コンポーネント	電子情報機器	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	44,397	28,014	72,412	7,818	80,230	—	80,230
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	72	636	708	101	810	△810	—
計	44,470	28,650	73,121	7,919	81,041	△810	80,230
セグメント利益 又は損失(△)	5,251	3,282	8,534	△338	8,196	△502	7,693

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にソフトウェアの開発・販売
ITソリューション等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。